



世界の地域から

ニューサウスウェールズ州～ハンター地域～ (オーストラリア連邦)

ハンター地域は、オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州の州都シドニー市から、北に150km程離れたハンター川沿いの一帯に位置し、地域は約31,000km²、人口約65万人を擁する地域です。当該地域の中心であるニューカッスル市は、ニューサウスウェールズ州第2の都市であり、近郊で採掘される石炭の積み出し港となっています。同地域内にあるハンターバレーは、オーストラリアで最も古い歴史を持った有名なワインの産地であり、年間200万人以上の観光客が訪れています。

また、ニューカッスル市と山口県宇部市とが、1980年に姉妹都市提携を締結していることをはじめ、同ハンター地域にあるレイクマコーリー市と北海道函館市（1992年）・福島県棚倉町（1994年）、ポートステューブン市と神奈川県湯河原市（1998年）・千葉県館山市（2000年）など、日本の地方自治体とも関係が深い地域です。（写真提供：ニューサウスウェールズ州）



カスタムズハウス
かつて税関として使用されていたニューカッスル駅前のこの建物は、現在、レストランなどが入っています。



アングリカン聖堂
ニューカッスル市内を見下ろす丘の上にある高さ37mの聖堂は、市街地からよく見えます。



ニューカッスルミュージアム
オーストラリアの様々な美術品などが展示されており、ニューカッスルの歴史を感じることができます。



ハンターバレー
オーストラリアで最も古く有名なワインの里です。



フォートスクラッチリー砦

1882年にロシアを警戒して造られた砦で、ハンター川の河口部のニューカッスル港と太平洋を見渡せる丘の上にあります。現在は博物館となっていますが、第2次世界大戦中の1942年にニューカッスルを攻撃した旧日本軍潜水艦への応戦をした場所でもあります。



フォートスクラッチリー砦からの風景

現在のニューカッスル沖合いには、日本や他のアジア諸国に石炭などの運ぶ大型石炭運搬船などが航行しています。



ノビーズビーチと灯台

毎年夏（12月）には、多くの海水浴客で賑わいます。



マコーリー湖

オーストラリア最大の塩水湖であり、シドニーハーバーの約4倍の大きさがあり、湖の周囲は約174kmもあります。



メイトランド

ニューカッスル市とハンターバレーの間にあるメイトランドには、1800年代の歴史的建造物が数多く存在します。

シングルトン

ハンター地区の北側にあるカントリータウンです。

